

公文類集 第六編

昭和十九年

卷二十五

官職門

官制 三五

朝鮮総督府 四

国立公文書館

分類

配架番号

13

2822

内甲一九一

昭和十九年七月六日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

閣議承認済

外務大臣 <i>齋藤</i>	海軍大臣 <i>米</i>	大東亞大臣 <i>米</i>	岸國務大臣 <i>西</i>
内務大臣 <i>為</i>	司法大臣 <i>米</i>	農商大臣 <i>角</i>	大藏國務大臣 <i>西</i>
大藏大臣 <i>西</i>	文部大臣 <i>角</i>	軍需大臣	後藤國務大臣 <i>角</i>
陸軍大臣 <i>角</i>	厚生大臣 <i>角</i>	逓輸通信大臣 <i>角</i>	藤原國務大臣

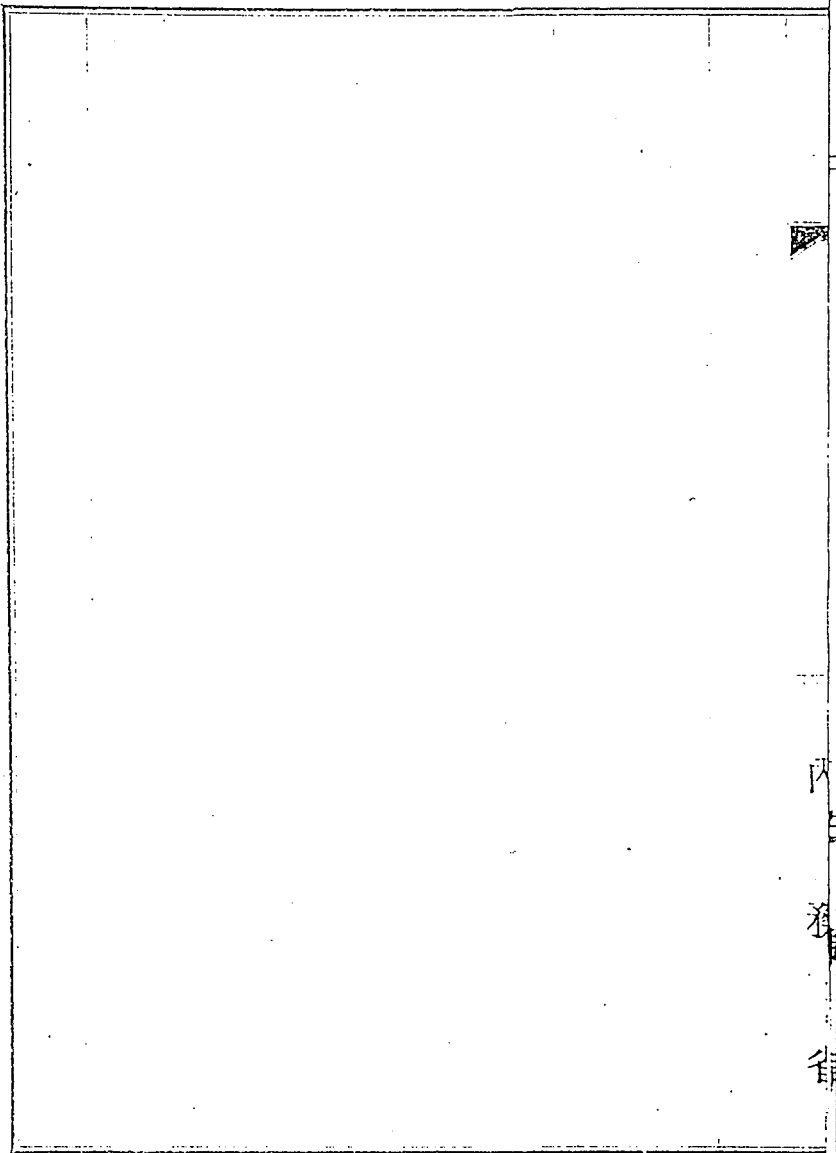
別紙内務大臣請議朝鮮總督府部  
内臨時職員設置制中改正件

去  
用  
局

昭和十九年七月七日



内務省



於朝鮮總督府部內臨時職員設置制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公  
布セシム

御名 御璽

昭和十九年七月十一日

内閣總理大臣  
内務大臣

勅令第四百五十五號

内務省

朝鮮總督府部内臨時職員設置制中左ノ通改正ス

第一條第七號ヲ左ノ如ク改ム

七 戰時特殊損害保險ニ關スル事務ニ従事スル者

屬

専任一人

同條第八號中「技師 専任五人」ヲ「技師 専任六人」ニ「技手

専任十三人」ヲ「技手 専任十四人」ニ改ム

同條第三十二號中「屬 専任三人」ヲ「屬 専任五人」ニ改ム

同條第三十三號中「事務官 専任三人」ヲ「事務官 専任四人」

ニ、「屬 技手」専任十八人」ヲ「屬 技手」専任二十人」ニ改ム

第三條第四號中「警部 専任四十二人」ヲ「警部 専任四十五人」

ニ、「警部補 専任百四十人」ヲ「警部補 専任百四十七人」ニ改ム

同條第十二號中「屬 専任十二人」ヲ「屬 専任十七人」ニ改ム

「理事官 専任二人」

同條第十三號中「屬 技手」専任百六十八人」ヲ「屬 技手」専任百

人

ニ改ム

七十四人

同條第二十三號中「屬 専任九人」ヲ「屬 専任十三人」ニ改ム

第四條第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 國民徵用ニ關スル事務ニ従事スル者

屬

庶任十五人

同條ニ左ノ如ク、加フ

九 貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

○

屬

庶任九人

前項ノ事務、外計事務獎勵ニ關スル事務ニ従事セシムル為、高野村ニ理事ヲ置キ、  
附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理由

戦時特殊損害保険、燃料選礦、軍事援護、貯蓄獎勵、經濟警察  
國民徵用、ニ關スル事務ニ従事セシムル為、總督府ニ事務官一人技  
師一人屬五人技師一人ヲ、道ニ理事官四人屬十五人警部三人警部  
補七人ヲ、府郡島ニ理事官一人屬二十四人ヲ増員スルノ要アルニ  
依ル

屬 專任十五人

同條ニ 據テ加フ

九 貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

理事官 專任十人

屬 專任九人

員ノ外貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ従事セシムル為京政村ニ理事官專任一人ヲ置ク

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理由

戰時特殊損害保險、燃料選購、軍事援護、貯蓄獎勵、經濟警察  
國民徵用、ニ關スル事務ニ従事セシムル為總督府ニ事務官一人技  
師一人屬五人技手、道ニ理事官四人屬十五人警部三人警部  
補七人、府部島ニ理事官一人屬二十四人ヲ増員スルノ要アルニ  
依ル





護事務ノ故増ト朝鮮人家庭ニ對スル徵兵制度ノ眞精神徹底ノ適正ヲ期スル爲總督府ニ屬二人、京畿道、全羅南道、慶尙北道、慶尙南道、平安北道ニ天々屬一人宛ヲ増員シ事務ノ適切ナル遂行ヲ期セントス

三貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員

總督府事務官 一人

道 屬 二人

道 理事官 四人

府 屬 六人

府 理事官 一人

府 屬 九人

朝鮮ハ内地ニ比シ所得ノ割ニ扶養人口多ク又一般ニ民度低キ爲國策ノ滲本(啓發)、貯蓄勸奨等ニハ豫想以上ノ困難ヲ伴ヒ昭和十九年度ニ於ケル貯蓄目標額十八億圓(十八年度十二億圓)ノ達成ニハ

一層個別的且濃密の指導督勵ヲ行フノ要アルヲ以テ總督府ニ事務官一人屬二人、道及主要都市ノ實情ニ應ジ道理事官四人、道屬六人及府理事官一人府屬九人ヲ増員セントス

四戰時特殊損害保險ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員

總督府屬 一人

朝鮮ニ於ケル戰時特殊損害保險法ノ施行ニ伴ヒ事務ノ内容著シク擴張セラレタル處戰争保險臨時措置法實施ノ際ニハ專任職員配置セザリシヲ以テ著増スベキ事務ノ圓滑迅速ナル處理ヲ期スル爲專

任ノ屬一人ヲ増置セントス

兵國民徵用ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員

道 屬 四人

郡 屬 十五人

戰局ノ進展ニ伴ヒ朝鮮内勞務事情ハ近時逼迫ノ度ヲ加ヘ所要勞務者確保ノ爲ニハ國民徵用令ヲ全面的ニ發動スルノ要アルヲ以テ從

來勞務給源トシテハ比較的重要視セラレザリシ西北鮮四道ニ道屬各一人及郡屬十五人増置以テ國民徵用ノ實施ニ遺憾ナキヲ期セントス

六 經濟統制ニ伴フ警察事務ニ従事スル者ノ増員

道 警 部 三人  
道 警 部 補 七人

朝鮮ニ於ケル戦力増強上ノ益路就中勞務ノ不足乃至稼働率ノ低位、移動ノ頻發等ニ對シ積極的施策ヲ進メ之ガ實效ヲ舉グル爲ニハ警察ノ有スル強力ナル組織網ト實踐力ヲ以テ指導協力スルノ要アルヲ以テ重要ト認メラルル京畿、平南、咸北ノ三道ニ道警部、全南、慶南北、蔚海、平北、咸南ノ七道ニ道警部補各一人ヲ増置シ第一線ニ於ケル經濟警察機構ノ充實ヲ圖リ計畫生産ノ完遂ト治安維持ニ萬遺憾ナキヲ期セントス

第一條 朝鮮總督府ニ在リテハ...

七 削除  
八 燃料運搬研究ニ關スル事務ニ従事スル者  
技師 專任五人  
屬 專任一人

三十二 軍事扶助、傷痍軍人ノ保護、慈善勸告其ノ他家事務ニ關スル者  
技師 專任十三人  
屬 專任三人

三十三 物價調整及貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者  
專任一人  
屬 專任三人  
技師 專任三人  
屬 專任三人

第三條 朝鮮總督府遊ニ在リ職員ヲ置ク  
技師 專任十八人  
屬 專任十八人

四 經濟統制ニ伴フ警察事務ニ従事スル者  
警部 專任十八人  
警部補 專任四十二人  
技師 專任十一人  
警部補 專任百四十人

十二 軍事扶助、傷痍軍人ノ保護、慈善勸告其ノ他家事務ニ關スル者  
技師 專任十二人  
屬 專任二人

二十三 國民徵用ニ關スル事務ニ従事スル者  
技師 專任百六十八人  
屬 專任九人

第四條 朝鮮總督府遊ニ在リ職員ヲ置ク  
技師 專任二十五人  
屬 專任二十五人

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス  
明治四十四年勅令第八十二號  
明治四十五年勅令第二十三號  
大正二年勅令第九十九號  
大正七年勅令第三百三十七號  
大正七年勅令第三百七十一號  
大正八年勅令第三百五十五號  
大正八年勅令第三百五十六號  
大正八年勅令第三百五十七號  
大正八年勅令第三百五十八號

- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス
- 明治四十四年勅令第八十二號
- 明治四十五年勅令第二十三號
- 大正二年勅令第九十九號
- 大正七年勅令第三百三十七號
- 大正七年勅令第三百七十一號
- 大正八年勅令第三百五十五號
- 大正八年勅令第三百五十六號
- 大正八年勅令第三百五十七號
- 大正八年勅令第三百五十八號



(中略)		判任俸給	1人	1	1	一八五二三二
本		俸	107人	11	11	一一三二二〇〇
總督府		屬	18	1	1	四〇八〇〇
總督府		技手	47	1	1	一九四四〇
道		技手	36	1	1	五〇七六〇
道		技手	4	1	1	三〇六〇
(後略)						四〇八〇

昭和十九年度內務省所管朝鮮總督府特別會計  
歲入歲出豫定計算書各目明細書(抄)

歲出臨時部

第四款 朝鮮臨時行政諸費

第十八項 軍事援護費 四一、八三三圓

目	十九年度豫定額	十八年度豫定額	比較增△減
一棒	五五二九六圓	三九七四四圓	一五五五二圓

區別	員數	單位費額	金額
判任俸給	1人	1圓	五五二九六圓
本俸	32	1	三四五六〇
總督府屬	5		五四〇〇
道屬	19	一〇八〇	二〇五二〇
府屬	8	八	八六四〇



本	總督府	本俸	1	1	25920
道	道屬	1	1	12960	38880
府	府屬	1	1	10800	15552
加	加俸	25920	十分ノ六	15552	

昭和十九年度内務省所管朝鮮總督府特別會計  
 歳入歳出追加豫定計算書各目明細書(抄)

歳出臨時部

第四款 朝鮮臨時行政諸費

第一項 總動員業務其ノ他諸費

目	十九年度追加豫定額
一俸	17280

11,936,743圓

17152

區別	員數	單位費額	金額
判任俸給	1人	10800圓	17280圓
本俸(總督府屬)	1人	10800圓	10800圓
加俸	10800	十分ノ六	6480

昭和十九年度内務省所管朝鮮總督府特別會計









八事務ニ従事スル者

五 專任三人

三十三 物價調整及貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

書記官 專任一人

事務官 專任三人

監査官 專任三人

技師 專任三人

技手 專任十八人

第三級 朝鮮總督府道ニ左ノ職員ヲ選ク

四 經濟統制ニ伴フ警察事務ニ従事スル者

警視 專任十人

警部 專任四十二人

技手 專任十一人

警部補 專任百四十七人

十二 軍醫扶助、傷病軍人ノ保護、職業紹介 其ノ他軍事援護ニ關ス

ル事務ニ従事スル者 專任十七人

醫 專任十二人

十三 物資供給調整ニ物價調整及貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ従事スル

者 專任六人

理事官 專任二人

技手 專任百六十八人



說 明 資 料

島 郡 府		道				
貯蓄奨励	庶民徴用	庶民徴用	貯蓄奨励	軍手扶助等		
職	庶事官	職	職	技手	職	職
〇	〇	〇	九	一六八	二	二二
九	一	一五	四	六	四	五
九	一	一五	一三	一七四	六	一七

說明資料目次

- 第一 燃料選鑛研究ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明
- 第二 軍事援助、傷痍軍人ノ保護、職業紹介其ノ他軍事援護ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明
- 第三 貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明
- 第四 戦時特殊損害保險ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明
- 第五 國民徵用ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明
- 第六 經濟統制ニ伴フ警察事務ニ從事スル者ノ増員説明

第六 各種法則ニ并ニ適應する爲ニ法則を改定スル者ノ法則改定

第七 種別法則ニ就テ本種法則ニ準拠シテ改定スル者ノ種別改定

第八 種別法則改定後種別法則ニ準拠シテ改定スル者ノ種別改定

第九 各種法則ニ準拠シテ改定スル者ノ各種改定

第十 各種法則ニ準拠シテ改定スル者ノ各種改定

第十一 各種法則ニ準拠シテ改定スル者ノ各種改定

第十二 各種法則ニ準拠シテ改定スル者ノ各種改定

適宜法則

第一 燃料選別研究ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明

燃料選鑛研究ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明

技師	一	人
技手	一	人

決戦下ノ要求タル「コバルト」「リシウム」「硼素」ハ各種兵器トシテ缺クベカラザル重要資材タルノミナラズ一面醫療方面ニ於ケル極メテ貴重ナル資源トシテ何レモ代替品ヲ以テスルヲ許サレザル獨特ナル用途ヲ有シ大東亞戦以來極力之ガ補給ヲ本邦疆域内ニ求メ來レル處最近ニ至リ銜内各地ニ於テ之等鑛物ノ發見セラレタルモノ相亞ギ其ノ量又相當豊富ニ賦存セルコト判明セシニ付速ニ之ガ選鑛方途ヲ確立シ資源ノ確保ヲ圖リ以テ戦力増強ニ寄與セントス然ルニ戦時下斯ノ種重要鑛物ノ選鑛試驗ハ現在ニ於テ水鉛、「タンクスチン」黒鉛、螢石等數種ニ上リ選鑛試驗ニハ之ガ研究ニ專

日ナキ職務ニ在ルヲ以テ到底前記試験ニ従事セシムルコト能ハズ  
 依テ技師一人技手一人ヲ増員シ以テ學務ノ圓滑ナル遂行ヲ期セントス

△△△△△

増員後ニ於ケル定員配置表

部	別	分	備	考	務	定
庶務部	庶務	會計	全	役		一
選鑒部	鑒物ニ關スル	選鑒	試驗	研究	技師 技手	一 一
燃料部	燃料ニ關スル	試驗	研究		技師 技手	一 一
分析部	鑒物ノ分析ニ關スル	試驗	研究		技手	一

所長(技師)×一

備考 ○印ハ増員配置 ×印ハ兼務



增員後ノ分擔事務

技師

一

「コバルト」、「マシウム」、「硼素」各鉀物ニ關スル合理的選鑿方途ヲ樹立シ之ガ選管指導ノ責ニ任シ且選鑿試驗報告書作製ノ務ニ當ルモノトス

技手

一

彼上各鉀物選鑿試驗ニ關シ技師ノ指導下之ヲ補助シ圖滑推

第一 總務部  
 第二 庶務部  
 第三 分析部  
 第四 檢査部  
 第五 運籌部  
 第六 研究部  
 第七 庶務部  
 第八 庶務部  
 第九 庶務部  
 第十 庶務部  
 第十一 庶務部  
 第十二 庶務部  
 第十三 庶務部  
 第十四 庶務部  
 第十五 庶務部  
 第十六 庶務部  
 第十七 庶務部  
 第十八 庶務部  
 第十九 庶務部  
 第二十 庶務部  
 第二十一 庶務部  
 第二十二 庶務部  
 第二十三 庶務部  
 第二十四 庶務部  
 第二十五 庶務部  
 第二十六 庶務部  
 第二十七 庶務部  
 第二十八 庶務部  
 第二十九 庶務部  
 第三十 庶務部  
 第三十一 庶務部  
 第三十二 庶務部  
 第三十三 庶務部  
 第三十四 庶務部  
 第三十五 庶務部  
 第三十六 庶務部  
 第三十七 庶務部  
 第三十八 庶務部  
 第三十九 庶務部  
 第四十 庶務部  
 第四十一 庶務部  
 第四十二 庶務部  
 第四十三 庶務部  
 第四十四 庶務部  
 第四十五 庶務部  
 第四十六 庶務部  
 第四十七 庶務部  
 第四十八 庶務部  
 第四十九 庶務部  
 第五十 庶務部  
 第五十一 庶務部  
 第五十二 庶務部  
 第五十三 庶務部  
 第五十四 庶務部  
 第五十五 庶務部  
 第五十六 庶務部  
 第五十七 庶務部  
 第五十八 庶務部  
 第五十九 庶務部  
 第六十 庶務部  
 第六十一 庶務部  
 第六十二 庶務部  
 第六十三 庶務部  
 第六十四 庶務部  
 第六十五 庶務部  
 第六十六 庶務部  
 第六十七 庶務部  
 第六十八 庶務部  
 第六十九 庶務部  
 第七十 庶務部  
 第七十一 庶務部  
 第七十二 庶務部  
 第七十三 庶務部  
 第七十四 庶務部  
 第七十五 庶務部  
 第七十六 庶務部  
 第七十七 庶務部  
 第七十八 庶務部  
 第七十九 庶務部  
 第八十 庶務部  
 第八十一 庶務部  
 第八十二 庶務部  
 第八十三 庶務部  
 第八十四 庶務部  
 第八十五 庶務部  
 第八十六 庶務部  
 第八十七 庶務部  
 第八十八 庶務部  
 第八十九 庶務部  
 第九十 庶務部  
 第九十一 庶務部  
 第九十二 庶務部  
 第九十三 庶務部  
 第九十四 庶務部  
 第九十五 庶務部  
 第九十六 庶務部  
 第九十七 庶務部  
 第九十八 庶務部  
 第九十九 庶務部  
 第一百 庶務部

總務運籌研究所定員現員表  
 (昭和十九年五月一日現在)

部	職	技		師		履		技		手
		定員	現員	缺員	定員	現員	缺員	定員	現員	
總務部		1	1							
庶務部										
分析部										
檢査部		1	1							
運籌部		1	1							
計		1	1					1	1	1

燃料燃費研究所別事務分擔表

昭和十九年五月一日現在

所 長	部 別		技 師	技 手
	分 擔	分 擔		
庶務部	庶務會計事務ニ關スル一般事項		一	
選 鑛 部	一 選鑛機械試驗ニ關スル事項 二 選鑛機械修理ニ關スル事項 三 選鑛機械ノ鑑定ニ關スル事項 四 選鑛機械施設設計及實技指導 ニ關スル事項			
	選鑛技術員ノ養成指導ニ關スル事項			

部別	分	職	技師	屬	技手
分析部	一 石炭質ノ燃料ニ關スル調査 及試驗報告ニ關スル事項 二 石灰ノ分析ニ關スル事項 三 調査及試驗報告ニ關スル事項 四 受託分析ニ關スル事項 五 遊樂試驗分析ニ關スル事項 六 分析試驗報告ニ關スル事項				

×印ハ兼務者ヲ示ス

關係豫算書

科	目	算	出	内	譯	算	出	額
朝鮮臨時行政諸費	調査及研究費							100,000
								100,000
俸	給	奏任俸給						100,000
		本俸						100,000
		加俸						100,000
		判任俸給						100,000
		本俸						100,000
		加俸						100,000
							100,000	

過去三箇年間に於ケル特殊鑛物選鑛試驗實績調

鑛種別	銅	鐵	鉛	水 鉛	マン グ ネ シ	黒 鉛	螢 石
試驗別	受託選鑛試驗 獨自選鑛試驗	受託選鑛試驗 獨自選鑛試驗	受託選鑛試驗 獨自選鑛試驗	受託選鑛試驗 獨自選鑛試驗	受託選鑛試驗 獨自選鑛試驗	受託選鑛試驗 獨自選鑛試驗	受託選鑛試驗 獨自選鑛試驗
昭 和 十 六 年 度	四三 七件	五四 九	六五 一	七五 二	八七 一五	九六 一五	八七 一五
昭 和 十 七 年 度	五三 八件	七三 一〇	八四 一二	九五 一四	一六 一七	〇四 一四	二六 一八
昭 和 十 八 年 度	五四 九件	一五 一六	二六 一八	三七 二〇	一五 二三	一七 一八	四八 二三

合	ニツケル	受託選鑄試験	三二	五	四一	五	六四	一〇
	其他	受託選鑄試験	三三	八	三四	七	五五	一〇
計		獨自選鑄試験	五		一〇	五	一四	六
		獨自選鑄試験	九	七	件	一〇	五	件
			一	〇	五	件	一	四
			六	件				

過去三箇年間ニ於ケル特殊鑄物ニ關スル  
當所獨自、選鑄、受託選鑄試験分析實驗調

昭和十六年度	四、〇三七成分
昭和十七年度	四、二七八成分
昭和十八年度	四、五八〇成分

備考 本表ニ掲記セルハ左記特殊鑄物トス

記

銅、鐵、鉛、水鉛、タングステン、黒鉛、螢石、ニツケル其他トス

第二 章 華扶助等ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明

軍事扶助、傷殘軍人ノ保護、職業紹介其ノ他軍事援護ニ關スル事務ニ  
從事スル者ノ増員説明

本府 屬二人  
道 屬五人

朝鮮ニ於テハ昭和十九年度ヨリ朝鮮人ニ對スル徵兵制度ノ實施ヲ見ル  
ニ至リタル處之ニ伴ヒ軍事援護ノ事務ハ量的ニ激增ヲ來スノミナラズ  
朝鮮人家庭ヲ對象トスル點ニ於テ質的ニモ特別ノ考慮ヲ加フルノ必要  
アリ 即チ援護ノ適正ヲ失スルトキハ延イテハ徵兵制度ノ眞精神ヲ誤ラ  
シムルノ虞アリ然ルニ本事務ニ從事スル者ハ本府屬三人、道屬十二人、  
府屬八人ノ極メテ寡少ナル人員ナルヲ以テ現在職員ヲ以テハ増増スル  
事務ノ處理不可能ナルニ付本府ニ屬二人、京畿道、全羅兩道、慶尙北  
道、慶尙南道、平安北道ニ夫々處一人宛ヲ増員シ事務ノ適切ナル遂行  
ヲ期セントス





道名	區分		
	定員	現員	缺員
京畿道	(一) 〇〇	(一) 〇〇	
忠清北道	(一) 〇〇	(一) 〇〇	
忠清南道	(一) 〇〇	(一) 〇〇	
全羅北道	(一) 〇〇	(一) 〇〇	
全羅南道	(一) 〇〇	(一) 〇〇	
畿南道	(一) 〇〇	(一) 〇〇	
濟南道	(一) 〇〇	(一) 〇〇	

定員實際定員現員表

(昭和十九年五月一日現在)





江 原 道				
廣 瀨 道				
長 門 道				
計	一三	五	一七	

算出補助其他等費等額ニ安スル經費(少)

科 目	算 出 内 額	算出額	年 額	増 減 年 額
警 備 隊 行 政 費		110000	115000	△50000
警 備 隊 費		110000	115000	△50000
判 任 降 給		15500	15500	
本 俸		9400	9700	
總 督 府 屬 二 人 各 10000		21000	21000	
道 屬 七 人		7500	7500	
加 俸 六 額		5800	5800	
本 俸 ノ 二 額		19500	19500	

第三 貯蓄獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者ノ待遇説明

附屬要職ニ關シテ之ヲ略シテ從事スル者ノ待遇說明

本所 事務官 一人

廳 二人

道 理事官 四人

縣 理事官 六人

府 理事官 一人

廳 九人

運道セキ職局現段階ニ對シテ國民貯蓄ノ増強ハ益々緊切ノ度ヲ加ヘ昭和十九年度ニ於テハ金額ヲ約シテ三百六十億圓ノ貯蓄目標額ヲ目指シテ之ガ達成ニ邁進スルコトヲ爲リ對策ニ於テモ之ニ即應シ貯蓄目標額ヲ增加シ以テ國策ニ關スベシ努力中ナリ而シテ本年度ニ於ケル貯蓄ノ増加ハ一般

農林省事務及諸商便高騰ニ因ル生活費ノ増大等ニ致ス空々困難性ヲ加ヘ  
農林省ニ對シテ内地ニ比シ所得ノ割ニ之ニ依リ養フベキ人口多ク又一般的ニ  
民衆低貯蓄此等ニ對スル國策ノ滲透啓發ト貯蓄ノ勵發ニハ豫想以上ノ困  
難ヲ伴フモノニシテ此等大衆ノ零細資金ノ吸收ヲ圖リ一面最近頃ニ收入  
ノ増加ヤル自田勞働者等ノ所謂新興階級ニ對スル組織的勵發ヲ初メ一般  
社會ニ對スル戰爭生活ノ徹底、各種天引貯蓄ノ強化、貯蓄組合ノ機能昇  
揚新規貯蓄手段ノ考究及眞勿邊與貯蓄ノ強化等一連ノ獎勵方策ヲ強化シ  
貯蓄ノ指導及奮勵ヲ一層画別的且嚴密的ニ行フニ非レバ到底増嵩セル貯  
蓄目標達成ノ達成ハ至難ナル實情ニアリ。然ルニ從來貯蓄獎勵職務ノ陣容  
ハ僅カニ本府ニ書記官一人、屬二人、各道ニ屬一人（忠清南道ヲ除ク）  
計十二人ニ過ギズ斯クノ如キ貧弱ナル陣容ヲ以テテハ到底本職務ノ興

滑ナル處理ハ期シ得ラレザルヲ以テ本府ニ專任事務官一人屬二人道ノ實  
情ニ應ジテ慶尙北道、咸鏡南道、全羅南道、咸鏡北道ニ夫々道理事官一  
人宛及京畿道、忠清南道、全羅北道、慶尙北道、慶尙南道、平安南道ニ  
夫々道屬一人宛ヲ增置スルト共ニ第一線ノ指導奮勵ニ當ル京城府外主要  
都市ノ陣容ヲ強化スル爲メ府理事官一人府屬二人ヲ京城府ニ府屬一人宛ヲ  
釜山、平壤、大邱ニ咸興、清津、仁川、鎮南浦ニ配置セントス



出、平、大、...  
 府、...  
 夫、...  
 入、...  
 附、...  
 精、...

職員一覽表

所屬	事務官	理事官	職
本府	一		二
道		四	六
京畿道			一
忠清南道			一
全羅南道		一	
全羅北道		一	一
慶尙北道		一	一
慶尙南道			一
平安南道			一



道署財課役員定員現員表 (昭和十九年五月一日現在)

道名	課長官			課長官			課長官		
	定員	現員	缺員	定員	現員	缺員	定員	現員	缺員
京畿道	1	1		5	5		1	1	
忠清北道				6	6				
忠清南道				5	5				
全羅北道				6	6				
全羅南道				5	5				
慶尙北道				7	7				
慶尙南道	1	1		6	6				
黃海道				5	5				
平安南道	1	1		5	5				
平安北道				5	5				
江原道				6	6				
咸鏡南道				6	6				
咸鏡北道				8	7	1			

府名	定員	現員	缺員	定員	現員	缺員
清見府	1	1	1	1	1	1
戶與府	1	1	1	1	1	1
鐵原浦府	1	1	1	1	1	1
平橋府	1	1	1	1	1	1
釜山府	2	2	1	2	1	1
大邱府	1	1	1	2	2	1
仁川府	1	1	1	1	1	2
京城府	7	7	1	28	26	2

府職員定員現員表

(昭和十九年五月一日現在)

年度別貯蓄金類別貯蓄額 (單位千圓)

年 度 別	貯蓄金類別	貯蓄額	向上歩合	備 考
昭和十三年度		二〇〇,〇〇〇	一三四	
十四年度		三〇〇,〇〇〇	一三〇	
十五年度		五〇〇,〇〇〇	一一五	
十六年度		七〇〇,〇〇〇	一〇八	
十七年度		九〇〇,〇〇〇	一一〇	
十八年度		一,二〇〇,〇〇〇	一二七	

貯蓄組合現況調

(昭和十八年九月末現在)

道名	貯蓄組合數	貯蓄組合員數	貯蓄現在額
道			
京畿道	一三、八二五	九九、八七二〇	八八、二六四、四二三
忠清北道	四、三七九	二二、四九三〇	一八、五一〇、二四一
忠清南道	七、四四八	四三、七二三四	四五、八三八、一六六
全羅北道	七、二二三	四三、四四二一	二六、二〇二、一九三
全羅南道	一三、一八三	七三、六三五九	七六、〇五五、〇八二
慶尙北道	一、一六〇	七八、四三九	七〇、二二〇、六一一
慶尙南道	一〇、九六七	七九、一四〇〇	五二、八三一、〇九六
畿尚南道	九、九四二	三九、四二〇九	三七、五〇四、八七五
黃海道	六、七四二	四六、九七〇〇	四八、九七〇、五八八
平安南道	五、七〇一	五七、七三五	五五、二二六、一七一
平安北道	五、八二九	三九、七三三二	三六、二〇五、二七七
江原道	六、五二九	五一、九八七八	五七、六四七、二三三
咸鏡南道	三、四六八	四一、四三〇	五八、五三一、六七九
咸鏡北道	一〇、五三九六	七一、七五七九七	六七、八〇七、六四五
合計			



金山府	大九八六	六八五七	一四九一六	四六九九	五七四四	一四九六六
"	七三一七〇	七二〇七四	一四九九一	五〇七三三	五八四四三	一四九三三
"	五〇〇	七〇	二八	八	中	六中
平海府	六七五五	一〇九八	一七九〇	四〇九	五九六	一四九七〇
"	五五六八二	九四二六八	一四九〇一〇	二〇七一六	五八六中	九一六九九
"	一〇〇	五〇	中	二	九	中
鐵南浦府	一五二九八	一五五六	五九六八	一〇八	二三一	五九六一
"	七六九八	三一八六一	一〇九〇	一四九〇一	二一七〇	五九七〇

威興府	二〇〇〇	五五五	一五八	中	一五〇	五九
"	六〇七二〇	一六四九	五七九	一四九	二二	六二
"	一五	五	一〇〇	中	中	中
清津府	五三九	七二〇	一〇八一	中	一五九	六二
"	六八〇二	七〇七二	四九四	一四九	一五九	六二



貯蓄増進目標額達成に資する積立（道ノ分）（單位千圓）

道名	昭和十八年		昭和十七年		昭和十六年	
	目標額	達成率	目標額	達成率	目標額	達成率
京畿道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
忠清北道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
忠清南道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
全羅北道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
全羅南道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
畿内道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
畿内北道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
畿内南道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
平安南道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
平安北道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
江原道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
咸鏡南道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
咸鏡北道	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
其他	1,000,000	100%	1,000,000	100%	1,000,000	100%
合計	10,000,000	100%	10,000,000	100%	10,000,000	100%

備考 十八年度貯蓄目標額に比し、直接有償証券投資に五〇〇〇千圓ヲ含まザルモノトス

自昭和八年  
至同十一年

# 公文別錄

總動員計畫關係  
書類 (三)ノ二

附國家總動員計  
畫關係書類  
○昭和十三年

国立公文書館	
分類	
配架番号	2 A
	1
	250



各省ニ於テ昭和十三年度中國家總動員  
 態勢ノ整備ニ關シ豫定セラル措置概要

- 其ノ一 外務省 其ノ六 商工省
- 其ノ二 内務省 其ノ七 逓信省
- 其ノ三 大藏省 其ノ八 鐵道省
- 其ノ四 文部省 其ノ九 拓務省
- 其ノ五 農林省 其ノ十 厚生省

企 業 動 一 〇 一 六 號	昭 和 十 三 年 五 月 十 一 日	企 業 院
--------------------------------------	--	-------------

10 10 10

貯蓄増加目標額及二實績調 (疎係府ノ分)  
 一、京城府(京線道) (單位千圓)

年 度 別	貯 蓄		目 標		歩 合	貯 蓄		實 績		歩 合
	道 目 標 額	府 目 標 額	道ノ 實 績	府 實 績						
昭和十六年度	一九二,〇〇〇	一六〇,〇〇〇	一九八,三六五	一七九,九五九	八三	九一				
十七年度	二六一,〇〇〇	二一六,六〇〇	二六一,六二〇	二三二,四二五	八三	八九				
十八年度	三四八,〇〇〇	二八七,〇〇〇	三七九,三一五	二九五,七六四	八二	六五				

三、仁川府(京畿道)

昭和十六年度	一九二,〇〇〇	一一〇,〇〇〇	一九八,三六五	八二,四一	六	六
十七年度	二六一,〇〇〇	一四四,八〇	二六一,六二〇	一五,三六〇	六	六
十八年度	三四八,〇〇〇	一七〇,〇〇〇	三七九,三一五	一八,四四八	五	五

三大邱府 (尚北道)

年度別	府 額		道ノ實額	府 實 額	歩合
	道目標額	府目標額			
昭和十六年度	二八〇〇〇	一一〇〇〇	四七一三二	二三三八八	五〇%
十七年度	四二〇〇〇	一九〇〇〇	五二五〇一	一八五三九	三五%
十八年度	六〇〇〇〇	一八〇〇〇	九七一三四	三〇一五	三一%

四釜山府 (慶尙南道)

年度別	府 額		道ノ實額	府 實 額	歩合
	道目標額	府目標額			
昭和十六年度	五三〇〇〇	三三七一〇	六〇八六六	三三三六七	五五%
十七年度	七六〇〇〇	四〇一五〇	八五九九一	四四〇九九	五一%
十八年度	一〇〇〇〇〇	五三三〇〇	一二八四五二	五九八四五	四七%

五平壤府 (平安南道)

年度別	府 額		道ノ實額	府 實 額	歩合
	道目標額	府目標額			
昭和十六年度	三七〇〇〇	二七〇〇〇	四一七三九	二七五四二	六六%
昭和十七年度	五一〇〇〇	三二〇〇〇	六〇八三四	四一〇二〇	六七%
昭和十八年度	六七〇〇〇	四二〇〇〇	八九七一八	五四〇六二	六〇%

六 鐵爾爾府 (平安南道)

年度別	府 額		道ノ實額	府 實 額	歩合
	道目標額	府目標額			
昭和十六年度	三三〇〇〇	四三〇〇〇	四一七三九	五二七一	一二%
十七年度	五一〇〇〇	五三〇〇〇	六〇八三四	六八二一	一一%
十八年度	六七〇〇〇	六四〇〇〇	八九七一八	一一二五一	一三%

七 咸興府 (咸鏡南道)

年 度 別	昭 和 十 六 年 度			昭 和 十 七 年 度			昭 和 十 八 年 度		
	道 目 額 員	府 目 額 員	步 合	道 目 額 員	府 目 額 員	步 合	道 目 額 員	府 目 額 員	步 合
昭 和 十 六 年 度	三六〇〇〇	一〇,五〇〇	二九	四三,三三〇	一三,六二〇	三	六四,〇〇〇	一八,二四〇	三
昭 和 十 七 年 度	四八〇〇〇	一,一九二〇	二五	五三,五〇六	一四,三九〇	二七	六八,〇〇〇	一八,七八〇	二〇
昭 和 十 八 年 度	六四〇〇〇	二〇,〇〇〇	三一	六六,九七七一	一三,八四〇	二〇			

八 消 費 府 ( 威 鏡 北 道 )

昭 和 十 六 年 度	三三,〇〇〇	一八,二五〇	四九	三八,四五三	一七,三〇二	四三
昭 和 十 七 年 度	四四,〇〇〇	一九,一六二	四三	四五,九七八	二〇,八九四	四五
昭 和 十 八 年 度	五三,〇〇〇	二二,三二〇	四二	六九,三〇八	三三,二四七	四七

總 務 課 算 費 ( 府 首 長 補 二 員 ス ル 等 )

費 目	算 出 内 容	金 額
朝鮮臨時行政諸費	委任俸給	二四〇二四
	本 俸	三三六〇〇
	道 地 算 官 四 人 各 年 二 七 六 〇 圓	一一,〇四〇
貯蓄獎勵費	府 理 算 官 一 人 年 二 七 六 〇 圓	二七六〇
	加 俸 四 割	六八六四
	判 任 俸 給	
賞 與	本 俸	二,一六〇
	道 地 算 官 二 人 各 年 一,〇八〇 圓	二,一六〇
	府 理 算 官 一 〇 人 各 年 一,〇八〇 圓	一〇,八〇〇
	加 俸 六 割	一五,五五二
		八,六一六

種別	品名	数量	備考
食糧	米	1000	
	小麦	500	
衣類	軍服	200	
	靴	100	
	手袋	50	
衛生	薬	100	
	衛生用品	50	
その他	雑品	100	
	燃料	50	

第四 戦時特殊損害保険ニ關スル事務ニ從事スル者ノ増員説明

戦時特殊損害保険ニ關スル事務ニ従事スル者ノ増員説明

本府 第一号

空爆等ノ非常事起ニ對處シ戦時經濟ノ運行ヲ確保シ國民生活ノ安定ヲ圖ラシムガ爲昭和十七年四月戦争保険臨時措置法ヲ朝鮮ニ施行シ在韓火災保險會社ヲシテ空爆等ニ因ル勿的損害ヲ擔保スベキ保險契約ノ引受ヲ爲サシメ居ル處民間保險會社ヲシテ本保險ノ運営ニ當ラシムルハ便宜ニ出テタル措置ニシテ其ノ終局ニ於ケル負擔ハ國家ニ歸屬（保險會社ガ高該業務ニ因リ損失ヲ受ケタルトキハ政府之ヲ補償シ利益ヲ得タルトキハ政府ニ之ヲ納付セシム）スルモノナルヲ以テ之ガ取扱保險會社ニ對シテハ報告ノ徵收、臨檢検査ヲ行ヒ殊ニ其ノ收受ノ経理狀況ニ關シテハ常に監査ヲ爲ス等嚴重ナル監督卜濃密ナル指導ヲ加フル要アリ



リ加之本保險ノ公益的性情ニ鑑ミ一般大衆ノ加入ヲ促進スル爲ニ隨時  
適切ナル周知宣傳ノ方策ヲ講ズルノ要アル等關係事務ハ繁劇ヲ極メツ  
ツアル實情トス然ル處戦局ノ進展ニ對處シ更ニ本制度ヲ擴充強化スル  
爲内地ニ於テハ四月二十五日戰時特殊損害保險法ヲ施行シタルヲ以テ  
一戰時保險臨時措置法ハ之ト同時ニ廢止セラレタリ一朝鮮ニ於テモ同  
法ヲ内地ト同時ニ施行シタル處新法ニ於テハ符定物件ニ對スル強制付  
保、政府ノ行フ損害査定等其ノ内容著シク擴張セラレタルモノアリ事  
務ノ増嵩ハ蓋シ想像ニ難カラザル處爰ニ戰爭保險臨時措置法ノ實施ニ  
際シテハ之ガ事務處理ノ爲ニ專任者ノ配置ヲ受クルコトナク他ノ事務  
ノ從事者ヲシテ兼務セシメ來リタル狀況ナルガ現状ノ儘ヲ以テシテハ  
到底著増スベキ事務ノ圓滑迅速ナル處理ヲ保シ難キニ付茲ニ專任ノ屬

一名ヲ增置シテ左記事項ニ關スル事務ヲ專任セシメ以テ本制度ノ運営  
上萬全ヲ期セントスル次第ナリ

記

- 一 戰爭保險取扱狀況ニ關スル報告書ノ徵取並ニ之ガ審査及臨檢検査ノ施行
- 二 取扱保險會社ニ對スル損失補償金ノ交付又ハ利益納付金ノ徵收
- 三 其ノ他保險會社ニ對スル指導及一般大衆ニ對スル周知宣傳
- 四 損害ノ原因又ハ損害ハ其ノ査定基準ノ認定
- 五 戰時損害保險調査委員ノ設置及同委員會ニ關スル庶務ノ整理
- 六 本保險ノ行保命令



昭和二十一年八月三十一日現在の状況

取扱保険會社數	三二社	三〇社	摘
契約取扱高			
件數	七二六六件	五六〇五件	
保險金額	二九九五一九千圓	一二〇一五八千圓	
收入保險料	三二八一〇八圓	三二四七八五圓	
保險會社ニ交付セ ル損失補償金	1	1	
保險會社ヨリ徵 セル利益納付金	概算 五三三、〇五八圓	三二六、四八九圓	
保險會社ニ交付セ ル事務費補助金	二一、四六一圓	一四九〇三圓	

現行戦争保険取扱状況

區分	十八年度(自一九四一年一月一日起至一九四一年三月三十一日)	十七年度(自一九四〇年一月一日起至一九四〇年三月三十一日)	摘
取扱保險會社數	三二社	三〇社	
契約取扱高			
件數	七二六六件	五六〇五件	
保險金額	二九九五一九千圓	一二〇一五八千圓	
收入保險料	三二八一〇八圓	三二四七八五圓	
保險會社ニ交付セ ル損失補償金	1	1	
保險會社ヨリ徵 セル利益納付金	概算 五三三、〇五八圓	三二六、四八九圓	
保險會社ニ交付セ ル事務費補助金	二一、四六一圓	一四九〇三圓	





國民徵用ニ關スル事務ニ從給スル者ノ増員説明

道

四

四人

郡

一

十五人

緊迫セル現時局下ニ於テ朝鮮ニ負何セラレタル各種重要物資生産ノ飛躍的増進ニ伴フ事務需要ノ急激ナル増加ト取局ノ進展ニ應ジ内地其ノ他海外供出勞務者ノ著増等ニ依リ鮮内勞務事情ハ近時逼迫ノ度ヲ加ヘ所要勞務ノ確保極メテ困難ト爲リタルニ鑑ミ朝鮮ニ在リテハ從來一部特殊ノモノヲ除キ殆ンド發勳セザリシ國民徵用令ヲ全面的ニ發効シ勞務委員ノ圓滑ナル充足ヲ圖ルコトトシタル處勞務給源トシテ比較的軍要視セザリシ西北鮮四道ニ於テモ勞務供出ヲ強化スル爲此等四道ニ道務各一人増員シ以テ國民徵用ノ資源ニ遺憾ナキヲ期スルノ要アリ

向又勞務關係諸法令及勞務供給調整ノ爲ノ行政措置ハ總テ府郡島ニ於テ實際的ニ處理運用セラレツアルガ從來之ニ對スル職員ノ設置ハ極メテ少數ニシテ殊ニ函北鮮四道ノ郡ニ在リテハ勞務關係職員未設置ノ所多ク事務執行上遺憾ノ點尠カラザリシ處今尙更ニ教上ノ通國民費用ノ擴大實施ニ伴ヒ第一級行政縣タル郡ノ事務ハ著シク増高シ現在ノ狀態ニ於テハ到底之ガ萬全ヲ期シ難キニ付郡島十五人ヲ増員シ國民費用ノ圓滑ナル實施ヲ圖ラントス

道増員職員ノ事務分擔表

分 担 事 項

- 一 國民敎用令ノ周知徹底ニ關スル事項
- 二 工務事業場ノ指定ニ關スル事項
- 三 採用、採用變更、採用解除ノ請求又ハ申請ノ審查ニ關スル事項
- 四 出頭命令書、敎用命令書、出頭變更命令書、採用取消命令書、採用解除命令書ノ交付ニ關スル事項
- 五 出頭者ノ調査又ハ調査ニ關スル事項
- 六 出頭調査ノ支給ニ關スル事項
- 七 管理工務又ハ指定工場ニ於ケル被採用者ノ給與ニ關スル事項
- 八 管理工場又ハ指定工場ニ於ケル被採用者ノ從來條件

分擔職員

一

- ニ關スル事項
- 九 發用セラルベキ者及被發用者ノ總成ニ關スル事項
- 一〇 發發用者ノ勞務管理ニ關スル事項
- 一一 發用沃切返發發ニ關スル事項
- 一二 國民發用ニ關スル諸調査統計ニ關スル事項

郡增員職員ノ勞務分擔表

分 擔 事 項

- 一 國民發用令ノ周知徹底ニ關スル事項
- 二 發用セラルベキ者ノ調査登錄ニ關スル事項
- 三 出頭命令書、發用令書、出頭變更令書、發用取消令書ノ交付ニ關スル事項
- 四 發用セラルベキ者ノ給附及出頭者ノ檢査又ハ調査ニ關スル事項
- 五 出頭派買ノ支給ニ關スル事項
- 六 被發用者ノ檢送引單ニ關スル事項
- 七 發用扶助返發發ニ關スル事項
- 八 勞務調整令ノ周知徹底ニ關スル事項
- 九 發發用ノ進取、使用、降格、就職、從來、退職ノ認

分 擔 職 員

屬 一





道	京	思	思	全	全	慶	慶	海
畿	北	南	北	南	北	南	北	南
○	○	○	○	○	○	○	○	○
一七八人	一六九	一〇七	二〇六	二八六	一七二	一七九	一六七	一七〇
○	○	○	○	○	○	○	○	○
一四七	一六	二〇	二一	一七	一六	一六	一六	一三
一七八人	一六九	一〇七	二〇六	二八六	一七二	一七九	一六七	一七〇

京都府各支庁定員配置表

備考。印ハ臨時部職員ヲ示ス

計	咸北	咸南
○	○	○
七	一	一
○	○	○
七	一	一
○	○	○
七	六	六
○	○	○
四	一	一
○	○	○
七	七	七
○	○	○
九	一	一
○	○	○
九	一	一

道名	定員	現員	缺員	定員	現員	缺員	定員	現員	缺員	定員	現員	缺員
京畿	○	○		○	○		○	○		○	○	
忠北	○	○		○	○		○	○		○	○	
忠南	○	○		○	○		○	○		○	○	
全北	○	○		○	○		○	○		○	○	
全南	○	○		○	○		○	○		○	○	
慶北	○	○		○	○		○	○		○	○	
慶南	○	○		○	○		○	○		○	○	
黃海	○	○		○	○		○	○		○	○	
平南	○	○		○	○		○	○		○	○	
平北	○	○		○	○		○	○		○	○	
江原	○	○		○	○		○	○		○	○	
合計	○	○		○	○		○	○		○	○	

道務務練定員現員表

一九四一現在

備考。印ハ臨時部減員ヲ示ス

合計	咸北	咸南	江原	平北	平南
○	○	○	○	○	○
一七 三七 七五	一八 一九	一三 九〇	一 三一	一 三六	一 〇四
○	○	○	○	○	○
一 五	三	四		四	五
○	○	○	○	○	○
一七 三三 四五	二八 二九	二三 三〇	一 三一	一 〇六	一 四四

合 計	内 地	朝 野 人			地 域 別
		鑛 山	工 場	車 場	
X 三二 〇二 〇〇 〇〇 〇〇	二 〇〇 〇〇 〇〇 〇	X 三二 〇〇 〇〇 〇〇	X 一 〇六 〇五 〇〇 〇〇	X 二 〇二 〇五 〇〇 〇〇	本 年 見 込 員 数
X 八 六 五 一 九	X 八 六 五 一 九	X 二 九 八 三 四	X 五 六 六 八 〇 五	三 七 〇 〇	全 上 中 實 地 員 数
					備 考
					X印ハ現員撤用其ノ他ハ新規撤用トス

昭和十九年國土政務見込額 一六四三〇

備 考  
。印ハ臨時部職員ヲ示ス

計	北	南
〇	〇	〇
七	一	一
〇	〇	〇
七	一	一
〇	〇	〇
七	六	六
〇	〇	〇
七	六	六
〇	〇	〇
九	一	一
〇	〇	〇
九	一	一
〇	〇	〇
九	八	八
〇	〇	〇
九	八	八

地 朝 町 南

計 取

國民適用數實調

方 地 詳 別	昭 和 十 六 年 度	昭 和 十 七 年 度	昭 和 十 八 年 度	計
計	四 八 九 五	四 〇 九 六	三 九 八 九	一 二 九 八 〇
地	四 八 九 五	一 三 五	二 三 四 一	八 五 八 一
詳		三 八 七 一	六 八 八	四 五 五 九
別		九 〇		九 〇

國民徵用狀況調

道別	年次別	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年	備
京畿道		三八四	三八三	四九〇	徵用員數ハ全部軍關係トス
忠清北道		二三四	一九八	九九	
忠清南道		六〇八	四六五	二九〇	
全羅北道		八五一	六一七	三九四	
全羅南道		九二五	七三二	五二八	
慶尙北道		七九八	五四二	三〇四	
慶尙南道		七八五	五〇二	四八四	
黃海道		一五六	九五	七八	
平安南道			七九	七三	
平安北道			七五	五二	
江原道		一五四	九六	七九	

威鏡甬道	二二三	五八
威鏡北道	七九	六〇
計	四〇九六	二九八九

昭和十九年各道別勞務動員見込表

道名	道内動員数	道外供出動員数	引受数	計	備考
京畿道	五〇〇七二	五三三二五	五〇〇〇	一〇八七二七	道外動員数ハ道通 供出(本府管内)
忠清北道	一三五四七	二六七〇		一六二一七	地供出、軍要員供 出数ヲ合セタルモ トス
忠清南道	一三六六〇	四八六三〇		六二三二〇	
全羅北道	二六五八〇	六六九二五		九三五〇五	本表中ニハ本府係 動員数三、五〇〇人 ヲ含ム
全羅南道	二二四一三	四八七七五		七一一八八	
慶尙北道	一五三九五	六二七五		二一六七〇	
慶尙南道	五二八七五	四〇九三〇		一〇三八〇五	
黄海道	六三三八四	一〇〇〇〇	五九三〇	七九三一四	
平安南道	九二二九八	一八〇〇〇	一一八八〇	一二二一七八	
平安北道	五七一三六	四九〇〇	二〇〇〇	六四六三六	
江原道	五五五五五	六〇〇〇	一八〇〇	六三三五五	

咸鏡南道	20,224	11,000	11,224	10,224
咸鏡北道	19,741	1,330	21,071	1,330
合計	39,965	12,330	52,295	11,554

軍需勞務要員斃傷救調

道別	年次別	昭和十七年	昭和十八年	昭和十九年	備
京畿道		1,890	1,489	1,000	
忠清北道		1,049	668	1,000	
忠清南道		1,708	1,560	1,000	
全羅北道		1,000	1,000	1,000	
全羅南道		1,596	1,261	1,000	
慶尙北道		1,348	766	1,000	
慶尙南道		1,270	760	1,000	
黃海道		850	660	1,000	
平安南道		962	577	1,000	
平安北道		559	78	1,000	
江原道		1,178	1,000	1,000	
				見込	
				救	



咸鏡南道	咸鏡北道	計
2,711	2,595	5,306
3,387	3,226	6,613
6,098	5,821	11,919

詳内帝安勞務者家庭数調(本府家庭)

道別	年次別	昭和十七年	昭和十八年	昭和十九年
京城道	○	1,211	1,113	1,114
忠清北道	○	2,682	1,821	2,443
忠清南道	○	5,175	5,451	1,014
全羅北道	○	1,782	1,418	2,324
全羅南道	○	1,221	1,431	3,224
慶尙北道	○	2,423	2,221	1,014
慶尙南道	○	2,221	2,221	2,100
黄海道	○	1,111	1,111	2,200
	○	1,111	1,111	2,200

平安南道	X	2,250,000	800,000	1,450,000	X
平安北道	X	2,450,000	1,200,000	1,250,000	X
江原道	X	1,200,000	1,200,000	0	X
咸鏡南道	X	1,200,000	1,200,000	0	X
咸鏡北道	X	1,200,000	1,200,000	0	X
本府			1,200,000	1,200,000	X
計	X	10,000,000	10,000,000	0	X

○印ハ引出敷トス世シ本府引受三、五〇〇ハ採掘員敷トス

鮮内需奨勞券發賣成績調(道按)

道別	年次別	昭和十七年	昭和十八年	昭和十九年	備考
京畿道		2,750,000	3,000,000	3,000,000	
忠清北道		1,100,000	1,000,000	1,500,000	
忠清南道		1,100,000	1,000,000	1,500,000	
全羅北道		1,000,000	1,000,000	1,000,000	
全羅南道		2,200,000	2,000,000	2,000,000	
慶尙北道		1,000,000	1,000,000	1,000,000	
慶尙南道		1,000,000	1,000,000	1,000,000	
釜山道		1,000,000	1,000,000	1,000,000	
平安南道		2,000,000	2,000,000	2,000,000	
平安北道		2,000,000	2,000,000	2,000,000	
江原道		2,000,000	2,000,000	2,000,000	

昭 和 十 六 年 度	昭 和 十 五 年 度	昭 和 十 四 年 度
南洋 17,000	南洋 17,000	南洋 17,000
内地 17,000	内地 17,000	内地 17,000
計 34,000	計 34,000	計 34,000

内地南洋移入朝鮮人勞務者既況

年度	區分	國民動員計畫 （或ル計畫數）	募集許可 （募集申請數）	募集許可 （募集制込）	渡航者數	備考
昭和十四年度	内地	2,000	2,000	2,000	2,000	
	南洋	-	-	-	-	
	計	2,000	2,000	2,000	2,000	
昭和十五年度	内地	2,000	2,000	2,000	2,000	
	南洋	2,000	2,000	2,000	2,000	
	計	4,000	4,000	4,000	4,000	
昭和十六年度	内地	2,000	2,000	2,000	2,000	
	南洋	17,000	17,000	17,000	17,000	
	計	19,000	19,000	19,000	19,000	



江原道	二二二〇〇〇	八〇〇〇	二四〇〇〇
威鏡道	一八〇〇〇		一八〇〇〇
威鏡北道	一〇〇〇〇		一〇〇〇〇
合計	二九〇〇〇〇	一〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇

生産増強勞務強化対策

一方計

現下戦局ノ推移ニ鑑ミ生産増強ハ魚眉ノ急務ナル處之ガ根本的條件ノ一タル勞務対策ニ付勤勞總力ノ取高度發揮ヲ期スル爲特ニ左ノ方策ヲ追加セントス

二實施要領

本対策ニ於テ工場、事業場トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノトス  
 (一) 山車作廢、車管理工場其ノ他車ノ必妥ニ基キ本府ニ於テ指定スルモノ

(二) 生産力擴充計畫該當工場、事業場ニシテ本府ノ指定スルモノ

(三) 特ニ本府ニ於テ必妥ヲ認め指定スル工場、事業場

(四) 經營対策

山車業主及勤勞者ニ對シ從來ノ勤勞觀念ヨリ脱脚シ各單位生産

ノ産業軍國タルノ性格ヲ樹立セシムルト共ニ工場事業場ニ於ケル責任者ヲシテ職務ニ汲ルルノ決意ノ下ニ陣頭指揮ニ込身セシムルコト

(2) 工場事業場ニ於ケル勤勞管理設備及勤勞管理ノ陣容ヲ整備セシムルコト

□ 勞務配置対策

(1) 時局重要産業ニ於ケル勞務ノ確保ヲ期スル為ニ依リ國民常用ノ擴張資力ヲ圖ルコト

(2) 常用ハ鐵道、輕金屬等ノ連結産業ニモ擴張資力スルコトトシテ常用ヲ安スル工場ハ之ヲ原則トシテ朝鮮總督ノ管理工場トスルコト

右ノ外將ニ重要ナル鑛山ニ付テモ必要ニ依リ常用ヲ資力スルコト

(3) 常用期間ハ充分ノ間原則トシテ一年以内トスルコト

(4) 常用ニ當リテハ都市ニ於ケル無業者及不安不慮産業従事者ヲ他ニ先ンジテ常用スル如ク運用スルコト

(5) 勤勞報國隊ノ活動ヲ左ニ依リ強化シ國民勤勞報國勸励令ヲ積極的ニ活用スルコト

(6) 工場事業場ニ於ケル簡易ナル作業ハ主トシテ勤勞報國隊ニ依リ勞務ノ充實ヲ圖ル如ク運用スルコト

(7) 都市ノ勤勞報國隊ヲモ積極的ニ動員スルコトトシ成ルベク同一業種又ハ職域単位ニ之ヲ編成セシムルコト

(8) 勤勞報國隊ニ依リ出勤員數ハ一年ヲ進シ道内全戸數ノ二割ヲ目標トスルコト右以上ノ出勤ヲ爲シツツアル道ニ在リテハ現在ノ出勤員數ヲ目標トスルコト

(9) 学徒或時勤員證副離立奨励ニ依リ積極的ニ学徒ノ勤員ヲ行フ

コト

(3) 徴兵徴立ヲ受ケタル者ニシテ徴乗又ハ召集セラレザルモノハ原則トシテ一定期間國家ノ奉安トスル義務ニ従事セシムル爲之ヲ勤員スルコト

(4) 學校卒業生使用制限令ノ適用ヲ受クル學校卒業生以外ノ新設學校卒業生ノ使用ヲ統制シ之ガ重點的配直ヲ圖ルコト

(5) 女子勞務ヲ以テ文障ナキ職種ニ對シテハ勞務調整令ニ依リ男子従業者ノ職入、使用、配賦及從業ノ禁止又ハ制限ヲ實施スルコト

(6) 主要都市ニ於ケル日雇勞務者ヲ統制シ左ニ依リ之ガ適正配賦ヲ圖ルコト

(7) 土木建築業、交通運輸業等ニ於ケル日雇勞務者、右關係業主及勞務供給業者ヲ以テ勞務報公費（假借）ヲ組織セシムルコト

コト

(8) 日雇勞務者ノ使用ハ勞務報公費ヲ進ジテ行ハシムルコト

(9) 内、司法保護對象者及仔勞務者ヲ有效ニ利用スルコト

(10) 女子遊休勞力ノ積極的活用ヲ圖ル爲左ニ依リ措置スルコト

(11) 女子ノ担任ニ適應スル職種ヲ選定シ新設學校卒業生及年齢十四年以上ノ未婚者等ノ全面的勤員配直ヲ確立スルコト

(12) 石ノ措置ニ關聯シ之ガ勤勞管理兵ノ配直施設等ニ付行列ノ考

慮ヲ爲スコト

(13) 勞務調整令ヲ改正シ接答業、娯樂業等ニ於ケル女子青少年（概本年齢十二年以上二十五年未満ノ者）ノ使用制限ヲ實施スルコト

(14) 此ノ場合勞務調整令ノ適用ヲ受ケザル女子青少年ニシテ警備取締ヲ受クル者は付テハ本件ニ準ジ之ガ取締ヲ強化スルコト

日勞務移動防止對策

(1) 勞務調査令ニ依ル無謀可ノ雇入、就職ノ絶無ヲ期シ之ニ違反シタル者ニ對シテハ改罰方針ヲ以テ臨ムコト

(2) 勞務調査令ニ依ル従業者ノ昇進、退職ノ制限ヲ鐵山ニモ或ルスルト共ニ之ガ取締ヲ強化スルコト

(3) 勞務者ノ住宅ヲ確保スルコトトシ簡素寢室ナル構造ニ依ラシムルコト鐵山ニ於テハ府ニ添付材小柱木等ニ依ル朝鮮式住宅ヲ奨励スルコト

(4) 配給機構ヲ改善シ左ニ依リ物資ノ確保ヲ期スルコト

(1) 主要其機 勞務者一人ニ付一校定量ノ配給ヲ爲スノ外休日數ニ應ジ若干ノ特配ヲ行フコト

右特配分ニ付テハ生産増強ニ效果アラシムル如ク工場事業場ニ於テ適切ナル給與ヲ試みセシムルコト

(2) 味噌、醤油、鹽等ノ供給ノ圓滑ヲ期スルコト

(1) 作業用必需品ヲ作樂衣、地下足袋、手拭、軍手、脚絆、洗石鹸、蚊香石炭等ノ優先配給ヲ爲スコト

(2) 酒類、煙草ノ供給ノ圓滑ヲ期スルコト

(3) 左ニ依リ厚生施設ノ改善允實ヲ圖ルコト

(1) 養老衛生施設ノ擴充ヲ圖ラシムルコト

(2) 購買組合、共済機關等ノ施設ヲ促進セシムルコト

(6) 開拓民以外勞務者ノ漫然被支配抑制ノ方策ヲ講ズルト共ニ國境附近ニ於ケル勞務者ノ課外就勞ヲ奨励スルコト

四 賃金対策

(1) 山勤勞能率ノ促進ヲ圖リ生産ノ向上ヲ期スル爲工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ賃金ニ彈力性ヲ認ムルト共ニ特ニ鐵山勞務者ノ坑

内附賃賃金ノ増額ヲ圖ルコト

(2) 日雇勞務者ノ取高賃金ヲ公定シ其ノ抑回ヲ圖ルコト



⑤ 養成対策

- (1) 工場、事業場ニ於ケル仕事隊組織ノ徹底ヲ期シ以テ養成対策ノ完成ヲ期スルコト
- (2) 事業主、経営幹部、労働監督者等ニ對シ産業指導者トシテノ養成ヲ期スルコト
- (3) 工場、事業場ニ於ケル中堅労働者ノ養成ニ資スル爲朝鮮等労働會道支部ノ設立ニ係ル道中堅労働者指導訓練所ヲ積極的ニ活用スルコト
- (4) 工場、事業場技能者養成令ニ依ル養成義務ヲ有スル工場、事業場ニ對シテハ之ガ養成施設ヲ徹底強化セシムルコト

關係豫算書

科目	算出内訳	金額
朝鮮臨時行政諸費		四六六五九
國民勳員賞		四六六五六
俸	判任俸給	四一四七二
	本俸	二五九二〇
	道屬 四人各一〇八〇圓	四三二〇
	郡屬 二〇人各一〇八〇圓	二一六〇〇
	加俸	一五五五二
賞		五一八四

本件説明内容は嚴格には警察の觀念に包摂せられざるべし。増員を警察署に配属し得るや一應の疑を存す。第三條第四號中之を加ふるは「勤勞動員を警察と考へらるる部分」を所掌とする職員と諒解し、且經濟統制とは物的資源のみならず人的資源の統制をも包含する觀念なりとの説明を容認すも結果也。

(警察署の職權に「勤勞動員」を加ふるは(1)統治上の影響、(2)今回増員の規模を理由として即條例の諒承せざる所なり。)

第六 經濟統制ニ伴フ警察事務ニ従事スル者ノ増員説明

官制改正説明資料目次

一 經濟統制ニ伴フ警察事務ニ從事スル者ノ増員説明 1頁

二 附表

經濟警察官増員配置表	3頁
各道經濟警察職員定員調	4頁
道警察部經濟警察課事務分担別定員配置表	5頁
四大重工業ニ關スル工場、鑛山、事業場調	6頁
生産擴充推進計劃該當工場、鑛山、事業場調	7頁
第一次各道別現員徵用實施狀況	8頁
第二次各道別現員徵用實施狀況	9頁
經濟統制令別違反取締狀況表	10頁
國民徵用令事務違反取締狀況(各道別)	13頁
勞務動員ニ關スル流言ノ取締狀況	13頁
關係豫算書	15頁

經濟統制ニ伴フ警察事務ニ從事スル者ノ増員説明

戦力増強上戦時物資ノ増産ハ刻下ノ急務ナル處之ガ生産ノ現況ヲ考ルニ猶幾多ノ隘路ノ存スルハ遺憾トスル處ナリ而シテ其ノ生産阻害ノ原因ハ資材、勞務、輸送力等ノ空カラサルニ存ストハ諸ヒ就中勞務ノ不足乃至稼働率ノ低下、移動ノ困難等ガ其ノ重要ナル原因ヲ爲スキノナルヲ以テ朝鮮ニ於テモ勞務所管局ニ於テ客年十月一生産増強勞務對策ニ對シテ獨立シ勤勞動員ノ強化、勞務者移動防止、稼働率ノ向上、勤勞管理ノ改善等ニ何種積極的施策ヲ講メツアル處朝鮮ノ現狀ニ於テハ之ガ實効奉場ヲ見ズル爲ニハ勞務調整令、國民徵用令等法令ノ違反取締ヲ修正強化スルト夫ニ警察ノ有スル強力ナル組織構ト統制アル實効力ヲ以テ指導協力スルコト最モ効果的ナリ而シテ警察部門ニ於テハ産業界ノ實在ニ通達ナル警察ニ於テ之ヲ率ルヲ適切ト認メ客年來勞務當局ト異給ナル連絡ヲトリ勞務對策ニ即應シテ取締ノ強化ニ併ルニ力ヲ爲シソフアル處其ノ成果見ルベキモメアリ

總督府  
月報  
一  
道庁各課

録テ管内ニ於ケル勞務事情ヲ概ルニ支那專使以來急激ナル諸産業ノ勃  
興ト之ニ對シテスル電力ノ建設、交通施設ノ充實等ニ因リ勞務需要ハ激  
々飛躍的ニ増大シ昭和十八年度ニ於テハ國民動員計畫ニ基キ本府ニ於  
テ及セルモノノミニテモ一三八、四三八名ノ多キニ達シ本年度ハ本  
府管轄管内供出一〇五、〇〇〇名内地南洋方面供出三〇〇、〇〇〇名  
軍要員(三〇〇〇名計區區員、〇〇〇名兵ノ外管内ニ於テ操作スベ  
キ工務、鑛山、土産兵ノ他ニ於テ要員シテアル員必妥員ハ一〇〇萬  
名以上ヲ確保セラレ且本年度以降ハ徵兵令ノ實施ニ伴フ壯丁ノ徵集ア  
ル等加急的ニ勞務ノ最的逼近ヲ來タスト共ニ一國半島ニ於ケル民衆  
ハ民度低キ爲ニ戰時下ニ於ケル勞務ノ重要性ニ對スル認識猶ホ淺ク勤  
勞報國隊ノ組織ヲ行シク改良ナリト爲シ一般勞務募集ニ對シテモ忌避  
迭起シ取ハ不正暴行ノ本ニ出ズルモノアルノミナラス未婚女子ノ採用  
ハ必スニシテ中ニハ此等ヲ慰安婦トナスガ如キ荒唐無稽ナル流言巷間  
ニ傳ハリ此等惡質ナル流言ト相俟フテ勞務募集ハ今迄々困難ニ尠ク  
モノト懸念セラルル而シテ勞務ノ逼迫化ニ伴ヒ發ニ第一、第二、第三次ノ現

員採用ヲ實施シ更ニ第三次後用ニ目下計畫中ナルガ鮮内外ニ於ケル勞  
務者ノ供給確保ネト爲ニハ勞務動員手段ノ強化、勞務者移動防止稼働  
率ノ向上ハ必スニシテ之ガ成泉ヲ發揚スル爲ニハ

- 1. 國民徵用令、勞務調整令違反ノ絶滅
- 2. 勞務ニ關スル惡質流言ノ取締
- 3. 對工場、鑛山、事業場ニ於ケル勞務者ノ就業確保(移動防止、稼働率向上、勞務斡旋等)ノ援助
- 4. 本府管轄勞務者ノ供出ニ對スル協力
- 5. 日僑勞務者統制機關(勞務報公會)ノ指導
- 6. 生産増強資金對策ノ維持(資金統制令違反取締)

等警察力ヲ以テ指導取締ヲ強化スルト共ニ濃厚ナル協力援助トヲ必要  
トス然ルニ警察ニ於ケル既往配置職員ハ戰時下増増スル諸般ノ勞務ニ  
專念シ全ク餘裕ナキヲ以テ道ニ警部三名警部補七名ヲ増員シ第一線ニ  
於ケル經濟警察機構ノ元實ヲ圖リ綜合生産増強諸施策トノ關聯ニ於テ

其ノ警察的裏付ケトシテ適時適切ナル指檢ヲ稱シ第一線活動ニ機動性  
ヲ賦與シ計畫左邊ノ完遂ト治安維持ニ爲遺憾ナキヲ期セントス

經濟警察官警員増員配当表

(一九二一年)

道名	警部		警員		署配当		署配当		合計
	警部	警員	署配当	署配当	署配当	署配当			
京畿道	一	一	九	三	一	五	一	一	
忠清北道			三	二				四	
忠清南道			三	一				四	
全羅北道			二	一				四	
全羅南道			二	一				四	
慶尙北道			三	一				四	
慶尙南道			三	一				四	
黃海道			九	三				一	
平安南道			一六	六				一	
平安北道			五	二				七	
江原道			五	二				七	
咸鏡南道			一〇	三				一	
咸鏡北道			一八	九				二	
合計	三	七	八八	三六	一七	一七	一八	三	

道配当調査中ハ韓族警察官供給ヲ對象トスル事有リ合ハ





道名	鐵鋼					輕金屬		石炭		船舶	
	鐵	鋼	輕金屬	石	炭	船	舶	計	計	計	
京畿道	一一	一一	一								一一
忠清北道	七	七			一						八
忠清南道	二	二			一						三
全羅北道	一	一									一
全羅南道					五						五
慶尚北道		三			五						八
慶尚南道		二			一						四
黃海道		一五			二						一七
平安南道		八			一六						二七
平安北道		五			三						二〇
江原道		七			七						一四
咸鏡南道		二			三						一四
咸鏡北道		五			三						三九
合計	七七	七七	一〇	七四	一	一	一六二				一六二

四八重點產產業ノ二屬スル工務鐵鋼山產ノ其場場

(一九五二)

道名	鐵	鋼	輕金屬	石	炭	船	舶	計	計	計
京畿道	一一	一一	一							一一
忠清北道	七	七			一					八
忠清南道	二	二			一					三
全羅北道	一	一								一
全羅南道					五					五
慶尚北道		三			五					八
慶尚南道		二			一					四
黃海道		一五			二					一七
平安南道		八			一六					二七
平安北道		五			三					二〇
江原道		七			七					一四
咸鏡南道		二			三					一四
咸鏡北道		五			三					三九
合計	七七	七七	一〇	七四	一	一	一六二			一六二



道名	注産擴充推進計劃該品工場嶺山事業場鋼						
	非鉄金屬	石油及其代用品	ソーダ	硫安セメント	鉄道車輛	電力	硝酸
京畿道	四				三	四	
忠清北道	四						
忠清南道	五						
全羅北道	二					二	
全羅南道	四					二	
慶尙北道	九				一		
慶尙南道	六				一		
黃海道	一					一	
平安南道	一				一		
平安北道	一	一				一	
江原道	一					二	
咸鏡南道	二	一				三	
咸鏡北道	一	三				二	
合計	一八	五	四	四	七	六	一
							一六五

(昭和一九四)

道名	非鉄金屬	石油及其代用品	ソーダ	硫安セメント	鉄道車輛	電力	硝酸	計
京畿道	四				三	四		一一
忠清北道	四							四
忠清南道	五							五
全羅北道	二					二		四
全羅南道	四					二		六
慶尙北道	九				一			一〇
慶尙南道	六				一			七
黃海道	一					一		一五
平安南道	一				一			一六
平安北道	一	一				一		二〇
江原道	一					二		一六
咸鏡南道	二	一				三		三〇
咸鏡北道	一	三				二		二一
合計	一八	五	四	四	七	六	一	一六五



附員

第二次各道別徵用實況

道名/別	徵用實況	全	計	徵用實況	全	令狀交付
京畿	八		八	六七一七	五四二〇	八一
忠北					八二八	
忠南	二		二	一〇〇一	九〇一	九〇
全北			一	一三三〇	一七九	九一
全南			二	四〇六	四〇六	一〇〇
慶北			一	二五一	二四九五	九一
慶南			一	八二六	八一三	九一
黃海	二	六	八	三〇一六	一五二	九一
平南	三		三	二四九	三三三	九一
平北	三		三	七〇八九	六七八二	九一
江原	三		四	一六九六	三九九二	九一
咸南	九	二	一一	四八二〇	四七一四	九一
咸北	六	一	五	四八二〇	四七一四	九一
計	三六	一四	五〇	五四二九三	四八七三三	九〇







國民徵用令、勞務調整令違反狀況 (自一月) 至四月)

道名	令別		違反		違反		違反		違反	
	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員
京畿道	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
忠清北道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
忠清南道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
全羅北道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
全羅南道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
慶尙北道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
慶尙南道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
黃海道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平安南道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平安北道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
江原道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
咸鏡南道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
咸鏡北道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

警務人員之職責及流首取締狀況 (自一月至三月)

道	法令別		保安法	
	朝鮮臨時保安令	警察犯處罰規則	保安法	監獄刑法
道名別	件	人	件	人
京畿道	七	一一二		
忠清北道	一五	三〇		
忠清南道	一五	一五	一九八	一九八
全羅北道	六	七	一四	一四
全羅南道	二六	二六	一八八	一八八
慶尙北道	二	二	一	一
慶尙南道	六四	六五	三七	三八
黃海道	二	二	一二	一二
平安南道	三	三	一	一
平安北道				
江原道	一一	一一	二	二
咸鏡南道				
咸鏡北道				
合計	一五二	一七四	四五三	四五四





貨  
兵

總套甲 一〇〇人各六〇〇圓  
一 (甲) 一〇人  
加 每  
補助加等 〇人 (每人二付人各三〇圓)

K 〇 〇 〇 〇  
〇 〇 〇 〇 〇  
〇 〇 〇 〇 〇  
〇 〇 〇 〇 〇  
1 〇 K 〇 〇 K

(以下省略)

濟

內甲 第二〇九號

起 案 昭和十九年七月二十日  
閣議 昭和十九年七月二十日  
施行 昭和十九年七月二十日  
可 昭和十九年七月二十日  
日 行

指令

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣

海軍大臣

大東亞大臣

岸大臣

內務大臣

司法大臣

農商大臣

大藏大臣

大藏大臣

文部大臣

軍需大臣

陸軍大臣

陸軍大臣

厚生大臣

運輸通信大臣

別紙內務大臣請議

朝鮮總督府刑務官署待遇職員本官昇格件

三